

升 4P49

DH2
37

千住製絨所要覽

22
71



850354

千住製絨所創業ヨリ明治廿二年度ニ至ル事業ハ沿革誌ニ載セテ詳
ナリ今之ニ次キ廿三年度ヨリ廿八年度ニ至ル六ヶ年間事業ノ要梗
ヲ掲ケテ一覽ニ便ス

明治廿九年四月

千住製絨所長小池正文

明治廿三年度自明治廿三年四月
至全 廿四年三月

明治廿三年四月一日 所長ノ職印ヲ改刻ス

同日 當所物品會計事務手續ヲ改正删除ス

同日 屬大渡一ニ收入官吏任務取扱ヲ命ス

同廿五日 石炭代ノ支拂ハ物品ノ完納ヲ待ツ能ハサルニ依リ毎

月既納品ニ對シ會計規則第六十七條ノ調書ニヨリ第六十八條ノ

範圍内ニ於テ取扱ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

同廿八日 當所收入官吏壹ケ年間現金收納概算高ヲ本省ニ報告
ス其金額左記ノ如シ

一金五拾參万六千百九拾壹圓

同三十日 當所出納官吏現金前渡ヲ受クル概算高ヲ本省ニ報告
ス其金額左記ノ如シ但シ左記ノ金額ハ職工ノ夫ノ給料ニシテ毎
月二回支給シ其時々精算スヘキモノナルカ
故ニ實際現金前渡高
ハ一回千七百圓ナリ

一金四万八百圓

五月十二日 屬大渡一ノ收入官吏任務ヲ免シ該任務ヲ屬金井長善ニ命ス

同十九日 倉庫一棟建築ノ許可ヲ得

同廿二日 廿二年度興業費ノ内同年度内仕拂未済ノ分合金貳万八千九百三圓貳拾九錢九厘ハ會計法第廿一條ニ依リ廿三年度ニ繰越使用ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

七月三十日 内地羊毛ハ生産者ヨリ現品ヲ當所ニ廻送シタル後其品質ト價格トヲ檢定シ本人ニ協議ノ上直ニ買入レ受授即時ニ結了スルヲ以テ契約ニ關スル保証金免除ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

同日 當所使用ノ羊毛ハ從來外國品依託購買通則ニ據リ重モニ濠洲ヨリ購入セシカ會計法施行ニ因リ該通則ニ據リ難キヲ以テ

今後ハ會計法第廿四條第四項ニ據リ濠洲メルボルン府シヨージアノノルドト隨意契約ノ上購入シ且ツ外國人トノ買賣契約ニハ概テ買主ヨリ賣主ニ前金渡ヲ爲スノ慣例ナルヲ以テ契約ニ關スル保証金ノ免除及倫敦天津等外國ニ於テ購入ヲ要スル特種ノ物件ハ總テ本件ニ準シ取扱ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

八月四日 電燈機械ヲ担当セル職工唐澤啓次郎ナル者股換電燈接續金物ノ破損シ易キヲ憂ヒ種々考案ヲ凝シ一種ノ木製具ヲ案出セリ因テ從前ノ金物ト彼此交換試験セシニ光輝其他毫モ異ナル所ナク簡易ニシテ能ク保存ニ堪エ其費用ハ從前ノ金物ニ比シ五分ノ一二足ラス又織絨用鉄製箴ハ初メ外國製品ヲ購入シ爾來破損品補修ノ爲メ材料鉄線ヲ購入シ普通箴職ニ命シ之ヲ調製セシメシカ麻糸ヲ以テ組成スルガ故ニ破損シ易ク使用上モ亦不充分ナリ然ルニ機械ノ組立及ヒ修繕ノ業ニ從事セル職工小宮寅藏

ナル者其製作ニ熟注シ遂ニ舶來品ニ讓ラサル鉄製箴ヲ調製スルニ至レリ是等ハ素ヨリ本業ノ技術ニ屬スト雖モ他人ノ容易ニ爲ス能ハサル点ニ着意シ當所ノ爲メ利便ヲ圖リタルモノナルヲ以テ許可ヲ得テ左記ノ如ク賞與ス又向後ハ是等ノ賞與ハ職工規則第拾一條勉勵賞與同様日給廿二日分ヲ最上限トシテ所長限リ取扱フ可キコトモ併セテ許可ヲ得

一金五圓

職工三等技男 唐澤啓次郎

一金參圓

同 六等技男 小宮寅藏

同十五日 廿二年度ニ屬スル益金概算ノ内八萬圓ハ該年度ニ於テ既納シタルモ詳細ハ年度經過後決算ノ上ニ非サレハ確定セズ故ニ同年度末現金ハ悉皆本年度ニ持越タル上決算セシニ尙益金壹萬六千四百拾八圓七拾參錢八厘生ゼリ依テ此金額ハ許可ヲ得テ廿三年度ノ國庫歲入トス又廿二年度中絨代前金トシテ破服廠

積金規約

ヨリ五萬圓ヲ受領セシカ年度切迫ノ爲メ未精算ノ儘該年度經過セルカ故ニ許可ヲ得テ此五萬圓ハ假納ノ原簿科目ヲ設ケテ繰越シ物品未渡諸品買受人ノ原簿科目ヲ以テ計算整理ス

九月廿五日 虎列羅病流行中私立繕生醫院ニ託シ晝夜醫員一名當所ニ出張セシメ其手當トシテ一日金壹圓五拾錢以内ヲ給シ且ツ臨時急病人ニ與フル藥價ハ豫防消毒用ニ限り官費支辨ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

十月二日 當工場ニ備付アル一號機關ハ低壓機ニシテ「コンデンサー」附屬スト雖モ用水不足ノ爲メ高壓機ニ變シ石炭ノ消費不尠仍テ構内堀割ヨリ川水ヲ引用スル爲メスペシヤール唧筒壹基購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得「コンデンサー」ヲ使用スルコトセリ

同六日 職工規則第拾六條ハ職工ノ私金ニ關スル規定ナルヲ以

テ之ヲ删除シ更ニ積金規約ヲ定ム
 同十日 勅令第二百廿三號ヲ以テ當所官制ヲ改正セララル
 同十一日 官制改正ニ因リ次長ヲ廢シ事務官ヲ置カレタルニ事
 務官任官迄元次長ヲ以テ事務官ノ職務ヲ取扱フヘキ義ト心得ヘ
 キ旨本省大臣ヨリ達セララル
 同十四日 元次長野崎貞智當所事務官ニ任セララル
 同十六日 絨耳糸(羊毛ヲ以テ製セシモノ)ハ從來獨逸國ヨリ購入セシカ近來
 東京毛糸紡績會社ニ於テ製造シ得ルニ至リタルヲ以テ直接購入
 ノコト及契約ニ關スル保証金免除ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 同廿一日 當所備員ハ官制ノ改正ニ因リ本年度中ハ其給料ヲ備
 人俸給ノ科目ヨリ支出シ廿四年度以降ハ雇人料ヨリ支出ノコト
 ヲ上申シテ許可ヲ得
 十一月五日 洗毛機械一組陸軍作業會計法第三條第二項ニ依リ

英國「ロチデール」町「シヨンウヰリヤム」ヨリ購入ノコトヲ上申
 シテ許可ヲ得
 同八日 乾毛機械一個陸軍作業會計法第三條第二項ニ依リ英國
 「ロチデール」町「シヨンベトリー」ヨリ購入ノコトヲ上申シテ許
 可ヲ得
 同日 羊毛調合ニ要スル白絞油ハ隨意契約ニ依リ大坂市平野町
 白山彦三郎ヨリ購入ノコト及契約ニ關スル保証金免除ノコトヲ
 上申シテ許可ヲ得
 同廿七日 五號紺絨本年度ヨリ毛染ニ改定セラレタルニ因リ染
 物場増築ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 明治廿四年一月十三日 逐年染色業増進シ從來使用スル貳拾馬力
 ノ滾籠ニテハ蒸氣ノ不足ヲ感スルヲ以テ公稱三十二馬力多管滾
 籠一個購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

同廿日 濠洲産羊毛ハ毎年冬季開市ノ際翌年度使用ノ分ヲ同洲
メルボルン府ジョージアノルドニ豫備セシメタリシカ來年度
分ハ法律上豫算決定前外國人ヲシテ豫備セシムルコト能ハス而
シテ豫算決定ノ時ニ至レハ開市ノ期ヲ過キ羊毛ハ悉ク各國ニ輸
出シ濠洲ニ於テ購買スベキ品ナキニ因リ來年度分ハ英國倫敦フ
エンチャル、アベニュー第九號ジエー、ウヰットールヨリ購買ノコ
トヲ本省へ上申ス

同三十一日 濠洲羊毛ニ關シ客歲七月ヴヰクトリヤ州メルボル
ン府ジョージアノルドヨリ隨意契約購入ノ許可ヲ得タリシ
カシヨージアノルドハ濠洲羊毛ニ關スル一切ノ代理ヲ京橋區
銀座大倉組商會ニ委任セシヲ以テ今後ハ代理人ト契約ヲ爲スコ
トヲ本省へ上申ス

二月九日 自今左ノ三大節ヲ以テ休日ト定ム

一 新年宴會

一 紀元節

一 天長節

同日 許可ヲ得テ巡視ノ等級左記ノ如ク改ム

等級 一等 二等 三等

日給 三拾五錢 三拾錢 廿五錢

二月十八日 赤羽被服廠へ製品ヲ送遣スルトキハ守警ヲシテ護
送セシムルコトニ定ム

三月十二日 染物場増築ニ因リ附属瀝罐場ノ増築及烟筒改造ノ
コトヲ上申シテ許可ヲ得

同廿日 色染場備付ノ染釜不足ニ因リ銅製染釜ヲ本年度ニ於テ
一個來年度ニ於テ一個購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

同廿四日 一昨廿二年八月中當所外國品依託購買通則ニ依リ府

下大倉組ニ注文セシ羊毛ハ翌年五月着港セシカ該羊毛積込漁船
 (メンシユアー)號遭難ノ爲メ共担分損金トシテ該代價ノ凡貳割
 ナ拂込ニ非サレハ引出スヲ得サルニ因リ受託人ニ於テ一時仕拂
 ヒ現品ハ實際上納セシヲ以テ遭難ニ係ル費用ヲ除キ羊毛原價其
 他諸費既ニ精算結了ス然ルニ今回大倉組ヨリ共担分損金額確定
 シ該分損金ハ保險會社ノ負擔ニ歸シタルヲ以テ供託中ニ於ケル
 立換金ノ利子及之ニ關聯セル諸費合計金八百拾壹圓七拾錢四厘
 下付ノコトヲ証憑書類ヲ添へ申出タリ購買通則中明文ナキモ固
 ヨリ受託人ノ負擔スヘキモノニアラサルカ故ニ廿三年度作業費
 中運搬費ヨリ支拂ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 此年當所各工場其他建物ノ名稱ヲ定ムルコト左記ノ如シ
 事務所 第一工場 第二工場 第三工場
 藍染所 色染所 色染所附屬瀝籠場

建物ノ名稱ヲ定ム

職工給支拂所 鍛工所 蒸絨所 電氣所
 雜工所 倉庫 石炭庫 雜物置 職工食堂
 職工手洗場 湯沸所 定詰夫詰所 門番所
 用達商人扣所 厠 煙筒 門 官舎
 官舎附屬物置

資本増額

本年度ニ於テ營業資本ノ増加セシハ左記ノ如シ
 一金六千四百九拾六圓七拾九錢壹厘
 但シ此金額ハ營業資本外ニシテ固定資本ニ屬セサル備付
 品ノ價格三月三十一日現在高ヲ陸軍作業會計法第二條ニ
 因リ据置運轉資本ニ編入セシモノナリ
 本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

製造販賣

名稱	製造額	羊毛使用高	厨綿製糸使用高	販賣高	同上代價
絨	二六、六四五二	七四、六五〇〇	〇	二六、三九六	五八、二四三六

職工

小絨	一、五二四九六	五八三〇〇	〇	一、九五五五六	六五七八一
藥蕪地	五、五四〇〇三	〇	五、六四四六	二、三六七三〇	一、九九八三九
計	二七三、七四六二	七五、九〇二五	五、六四四六	二、三二、五二五	五九〇、八九七三六

本年度中使役セシ職工ノ人員及ヒ給料ハ左ノ如シ

延人員	給料	平均一人九時間給料
八七、一四七	二四、一九〇八二二	〇二七二
一〇一、四五七	一三、〇七七〇三九	〇一二九
一八八、六〇四	三七、二六七八六一	

石炭

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

購入高	同上代價	消費高	同上代價
九、八五二、四六〇〇 斤	三三、二五二六四 圓	八、七九九、三九〇〇 斤	二九、六八三〇六 圓

本年度作業支出額ハ六拾壹万三千九百四拾壹圓四拾錢收入額ハ

臨時費

五拾九万四千四百拾八圓七拾參錢壹厘益金ハ壹万四千七百拾五圓五錢五厘(益金ハ受拂勘定ニ依ルモノニ)外ニ廿二年度ニ屬スル益金壹万六千四百拾八圓七拾參錢六厘合セテ參萬千百參拾參圓七拾九錢參厘國庫ニ納入ス收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク

倉庫不足染物場狹隘ノ爲メ本年度ニ於テ臨時歳出ヲ仰キ倉庫一棟新築染物場増設ヲ爲シ其決算額ハ併シテ五千參百四拾七圓五拾貳錢四厘ナリ

明治廿四年度 自明治廿四年四月
至全 廿五年三月

明治廿四年四月三日 徹夜勤務ノ者ハ陸軍給與令第九條ニ依リ第

九表ノ夜食料金參錢ヲ給スルコトニナル

同三十日 許可ヲ得テ巡視及小使ノ被服料ヲ改定ス其金額左記

ノ如シ但シ甲額ハ最初備入タルトキ定制ノ被服新調ノ爲メ之ヲ
給シ滿一ケ年毎ニ保續料トシテ乙額ヲ給ス

甲 額

乙 額

巡視 貳拾參圓貳拾八錢 拾七圓七拾五錢

小使 拾壹圓四拾四錢 四圓五拾八錢

五月十二日 明治廿二年佛國巴里ニ於テ開設シタル萬國博覽會

ヨリ當所出品ニ對シ贈與ノ賞狀及銀賞牌ヲ農商務省ヨリ受領ス
賞牌ハ金銀銅ノ名稱ヲ
付スルモ總テ銅製ナリ

六月十二日 許可ヲ得テ電話交換ニ加入ス

同十三日 當所々管官有財産目錄ヲ調製シ本省へ進達ス
 同十八日 東京大坂両工廠ヨリ注文ノ砲用藥囊地製造ノ原料ニ
 使用スル繭綿製糸(繭足代糸等ヨリ製スルモノ)ハ前橋紡績會社製造ノ品適當ナ
 ルヲ以テ隨意契約ニ依リ購入シ且ツ契約ノ爲メ保証金ヲ要スル
 トキハ價格從テ騰貴シ兩工廠ノ定額ニ影響スヘキニ因リ保証金
 免除ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 同十九日 職工勉勵手當内規ヲ改正ス
 同廿三日 職工勉勵手當内規ヲ改正追加ス
 七月四日 事務官野崎貞智事務官ヲ免セラル
 同十三日 事務官欠員中所長ノ代理ハ代理條例第三條第四條適
 用ノコトヲ上申シ許可ヲ得テ技師大竹多氣ヲ代理トス
 同十七日 嚮ニ獨乙國「ケムニツ」「ゼクジツシエ、マシーチン、
 フアブリツク」ヨリ購入ノ蒸氣滾罐ニ屬スル「フランパイプ」ハ

湯呑所ヲ廢ス

漸次老朽シ引換ヲ要スルヲ以テ再ヒ同人ヨリ隨意契約ニ依リ購
 入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 同廿九日 陸軍一等軍吏平尾八束當所事務官ニ任セラル
 八月十一日 事務所附屬ノ湯呑所ヲ廢ス
 同十七日 嚮ニ購求セシ色染所附屬多管滾罐ニハ豫備唧筒ノ設
 ケナキニ由リ唧筒壹個購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 九月四日 當所備染物師獨逸人アルント、シユーリヒハ奉職以
 來能ク其業務ニ勵精シ染業上裨益ヲ與フル少ナカラサルヲ以テ
 滿期解備ノ際手當トシテ月俸貳ケ月分即金參百圓給スルコトヲ
 上申シテ許可ヲ得
 十月十一日 染物師獨乙人アルント、シユーリヒ滿期ニ因リ解
 備ス
 十一月九日 當所構内官舎ハ備外國人解備後空屋トナリタルヲ

外國人解備

以テ工業上便宜ノ爲メ許可ヲ得テ二戸ノ内一戸ヲ技師大竹多氣ニ貸渡ス

十二月廿三日 工場備付蒸氣瀛罐中購入後七八年間晝夜使用シ危険ノ虞アルニ因リ遞信省管船局ニ依頼シ司檢官ノ検査ヲ受ク
明治廿五年一月十九日 電燈機械取扱ニ従事スル職工南澤忠平ナル者電燈用カーボンノ燃屑(凡三分ノ一)廢物ニ属スルヲ憂ヒ簡易ナル接續法ヲ案出シ以テ廢棄ノ燃屑ヲ利用スルニ因リ爾來カーボン使用高凡四分ノ一ヲ減スルニ至レリ職工獎勵ノ爲メ金拾圓賞與ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
二月十二日 去ル十六年火災ニ罹リタル光澤器械壹臺使用ノ見込ナキニ因リ賣却ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
同十六日 當所物品會計事務手續ヲ改正删除ス
本年度中軍絨定價左ノ通り増減ス

軍絨定價

製造販賣

本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

絨類	一ヤール 舊代價	改正代價
一号 紺	二、一七〇	二、二六〇
二号 紺	二、二九〇	二、六二〇
三号 紺	二、二九〇	二、三三〇
四号 紺	二、一七〇	二、一八〇
六号 紺	二、〇四〇	二、〇三〇
七号 紺	二、一三〇	二、〇九〇
一号 茜	二、〇二〇	二、一〇〇
二号 茜	二、六五〇	二、六四〇
三号 緋	〇	二、〇四〇
藍霜降	〇	二、〇〇〇
廿号 各色	二、二七〇	二、一三〇

職工

本年度中使役セシ職工ノ人員及ヒ給料ハ左ノ如シ

名稱	製造額	羊毛使用高	層綿製糸使用高	販賣高	同上代價
絨	二八四、五二四	八五八、一八〇五三	〇	二九七、二九七〇	六八、四〇八六五
小絨	二、一七六〇	九二三〇	〇	二、一八二七	八〇〇八五
藥糞地	三、二六三六	〇	一一九三	七、〇三九九	五、二八七二
計	二八九、九三九〇	八五九、二〇八三	一一九三	三〇六、三二八六	一四四、四九八八一

石炭

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

延人員	給料		平均一人九時間給料
	男工	女工	
八三、五二一	二四、〇九二	四七三	〇二八八
九七、五二二	一一、六三一	二七五	〇一二九
一八一、〇三三	三六、七二三	七四八	

石炭	購入高	同上代價	消費高	同上代價
八二九、〇〇〇〇	斤	二六、四四六三	斤	二五、六四七二
		圓		圓

收支

本年度作費業支出額ハ五拾貳萬貳千參百拾圓四拾錢五厘收入額ハ六拾四萬參千八百五拾四圓參拾參錢五厘益金ハ六萬貳千五百九拾五圓貳拾壹錢四厘ナリ其收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク

明治廿五年度

自明治廿五年四月
至全廿六年三月

明治廿五年四月九日 會計検査官伊藤祐敬同試補友平甲子外属官

四名本月一日ヨリ當所ニ出張本日ヲ以テ検査終了ス

同十八日 獨乙國製裝針帶ハ紡毛機械ノ修補ニ要シ一ケ年ノ使
用高五百圓以上ニ登ルト雖モ内地ニ製造者ナク需用ノ時々海外
ヨリ購入スル特種ノ物質ナルヲ以テ隨意契約ニ依リ購買ノコト
ヲ上申シテ許可ヲ得

五月十一日 英國「サーベルマ井エル」染毛器械貳組購入及ヒ運
轉用蒸氣機關一個及起重器石川島造船所ニ於テ製造ノコトヲ上
申シテ許可ヲ得

八月六日 石炭庫不足ニ付壹棟新築壹棟増築ノコトヲ上申シテ
許可ヲ得

九月三十日 陸達第六十九號ヲ以テ文官名簿書式及料紙改正セ

ラレタルニ因リ當所文官名簿ヲ本省へ進達ス
 十月十三日 属磯山廣福ニ工事并物品賣買ニ係ル契約保証金
 庫保管証書ノ出納取扱ヲ命ス
 十一月九日 當所ニ於テ製造セシ各種ノ絨類ニ創業ヨリ一貫ノ
 番號ヲ付記セシカ本日拾万反ニ達セシヲ以テ番號ヲ改メ更ニ
 號ヨリ起號ス
 同廿二日 大藏省主計官片山恭平當所ニ出張現金出納官吏帳簿
 及金櫃ノ検査ヲ爲セリ
 同日 當所事務所員執務時間ヲ改定スル左記ノ如シ
 四月廿日ヨリ七月十日迄 午前七時ヨリ午後四時ニ至ル
 七月十一日ヨリ九月十日迄 午前七時ヨリ午後二時ニ至ル
 九月十一日ヨリ四月十九日迄 午前八時ヨリ午後五時ニ至ル
 事務繁劇ノ場合ニ於テハ晝夜ニ拘ハラズ執務スヘキ事

軍絨定價

明治廿六年三月八日 備付品附属具并雜具品等損敗ノ爲ノ新ニ代
 品ヲ材料部ヨリ受取ルトキハ必ス損敗品ト交換セシメ又材料部
 ハ廢品中修繕ノ見込アルモノハ之ヲ修繕シテ再度ノ用ニ供シ修
 繕シ能ハサルモノハ之ヲ賣却スルコトニ定ム
 同廿日 英國ハダースフヒールド町ケンウォルシー、ロイスト
 シ機械製造會社製造ノ光澤付ケ用水壓機械一臺府下王子村東京
 紡績會社ニ於テ不用ニ属スル趣ニ依リ隨意契約ノ上代價割引ヲ
 以テ購入シ又該機械附属ノ壓搾唧筒ハ内地ニ於テ製造シ得ルヲ
 以テ來年度ニ至リ購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 三月 物揚場西側ニ沿フテ五拾貳坪半ノ仮物置壹棟ヲ建設ス
 本年度中軍絨定價左ノ通り増減ス

絨類	一ヤールニ付 舊代價	廿五年四月 改正代價	廿五年六月 改正代價
二 号 紺	圓 一、六二〇	圓 一、三六〇	圓 一、三〇〇

製造販賣

本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

名稱	製造額	羊毛使用高	屑綿製系使用高	販賣高	同上代價
三號 紺	二、三三〇	二、一八〇	二、〇二〇	二、〇二〇	一、九六〇
四號 紺	二、一八〇	二、二四〇	〇	〇	二、一二〇
五號 紺	二、二四〇	二、〇三〇	二、五〇〇	〇	〇
六號 紺	二、〇三〇	二、〇九〇	〇	一、九二〇	一、七六〇
七號 紺	二、〇九〇	二、一〇〇	一、九二〇	二、〇七〇	一、八六〇
一號 茜	二、一〇〇	二、〇四〇	一、七七〇	二、〇七〇	二、〇一〇
三號 緋	二、〇四〇	二、六四〇	〇	一、七七〇	一、七一〇
二號 茜	二、六四〇	二、〇〇〇	〇	一、七三〇	二、六一〇
藍霜降	二、〇〇〇	二、一三〇	二、一三〇	一、七三〇	一、六七〇
廿號 各色	二、一三〇	二、一三〇	二、一三〇	二、一三〇	二、〇五〇

職工

本年度中使役セシ職工ノ人員及ヒ給料ハ左ノ如シ

計	延 人 員		給 料		平均一人九時間給料
	男 工	女 工	圓	圓	
藥囊地	一七、五六四三	〇	一、七四三六四	一、七四三六四	一一、九〇五四〇
計	二八、八〇〇九	七九、四六〇〇	一、七四三六四	二七、三七三二	五五〇、七八二六五
男 工	八二、三一六	二二、一四七四七	〇	〇	〇
女 工	九〇、二〇一	一一、九三三六八	三、五八三〇一	一、一五	〇
計	一七二、五一七	三三、〇八一	三、五八三〇一	一、一五	〇

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

石 炭	購 入 高		代 價		消 費 高		代 價	
	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓
	八、三六、五〇〇〇	三、八九三六六	七、四八、二五三六	三、一五、六六五				

本年度作業支出額ハ五拾貳万九百八拾四圓參拾貳錢七厘收入額ハ五拾五万七千四百六拾壹圓九錢六厘益金ハ參万九千五拾九圓

收支

石炭

拾八錢六厘ナリ其收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク

明治廿六年度自明治廿六年四月
至同廿七年三月

明治廿六年四月十日 當所製品販賣所ノ手数料ハ廿一年十一月許
可ヲ得テ賣高ノ百分ノ六ト定メタリシカ現今販賣高増進セシニ
因リ本年度ヨリ百分ノ五ニ改定ノ旨本省へ上申ス

五月廿六日 獨逸國ケムニツツ府「ナスカールシムメル」會社ヨ
リ毛布製造ニ要スル諸機械ヲ隨意契約ニ依リ購入ノユトヲ上申
シテ許可ヲ得

七月二日 毛布製造場建築ノコトハ本年度豫算ニ於テ決定セラ
レタルニ因リ着手ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

十月三日 勅令第四百一十一號ヲ以テ當所官制ヲ改正セラル

同十三日 毛布製造場附屬ノ煙筒建築着手ノコトヲ上申シテ許
可ヲ得

同廿一日 濠洲羊毛ハメルボルン府シヨーシアーノルドヨリ購

毛布製造工場建築

官制改正

巡視守警ト改稱

大セシカ今回同人死去シ同府エルレヴ井ン其事務ヲ繼續シ
 引續キ銀座大倉組商店ヲ以テ代理店ト爲ス旨申出タリエルレヴ
 井ンソノ身元ニ關シテハ「ウ井クトリヤ」首相并獨逸領事ノ証
 明アルニ依リ將來濠洲ニ於テ購入ヲ要スル羊毛ハ同人ヨリ購入
 ノ旨本省へ上申ス
 同日 陸達第百二號ヲ以テ十一月一日ヨリ當所巡視ヲ守警ト改
 稱セラル
 同三十日 守警ノ被服料ハ陸軍備人被服給與規則第一表中看病
 人ト同一ノ定額ヲ支給シ第二表ノ被服定數ヲ新調セシムヘキ旨
 本省ヨリ通牒セラル
 五月四日 陸達第百七號ヲ以テ陸軍監獄看守及陸軍備人被服給
 與規則改定セラル
 十二月十九日 毛布製造ニ要スル機械中洗絨及捲絨機械ハ石川

職工規則改正

島造船所ニ於テ製作シ得ルヲ以テ隨意契約ニ依リ購入ノユトヲ
 上申シテ許可ヲ得
 十月十三日 職工規則ヲ改正シテ其旨本省へ上申ス
 明治廿七年一月十八日 職工給渡日ヲ毎月十二日廿七日
二月十二日
ハ廿六日
 ノ兩日ト改ム
 三月廿七日 當所休暇日左記ノ如ク定ム
 一 四月一日ヨリ當分工場夜間休業ス
 一 同日以後日曜日ハ事務所工場共隔週毎ニ休業ス
 但四月一日日曜日休業セス
 一年頭年末祭日等陸軍省休暇日ニハ都テ休業ス
 但至急ヲ要スル工事アルトキハ此限ニアラス
 同日 事務所宿直員ノ外今後工業掛一名宛宿直セシメ職工退出
 後工場内ヲ巡檢セシム

同廿九日 撰毛ニ從事スル工女ノ給料ハ他ノ職工ト同ク日給ナ
リシカ四月一日以後ハ洗毛科撰毛工女準業規定ヲ定メ撰毛ノ多
寡ニ應シ給料ヲ支給スルコトニ爲セリ

同三十日 撰毛工女ノ給料ハ固ト羊毛ノ種類ニ因リ撰毛ニ多寡
ヲ生スルモノナルヲ以テ先ツ支那羊毛見本第一號ヲ三等ニ撰別
スル工女ノ給料撰上リ壹キロ(端數ニ對シ金參厘ト定ム)

同日 仕拂命令官ノ官印ヲ新調シ其印章ヲ本省へ進達ス
同三十一日 夜業休止ノ間漁笛ノ時刻ヲ改メ且ツ職工出入心得
書ヲ改正ス

軍絨定價

本年度中軍絨定價左ノ通増減ス

絨類	一ヤールニ付 舊代價	廿六年四月 改正代價
一号 紺	圓 二、二六〇	圓 二、二五〇
二号 紺	圓 二、三〇〇	圓 二、三一〇

製造販賣

本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

名稱	製造額	羊毛使用高 封	厚綿製糸使用高 貫	販賣高 碼	同上代價 圓
絨	二四四、〇四三七	六五、一九〇〇	〇	二四九、三四七	五〇三、七二九三
小絨	三五、三九二六〇	一〇、八二〇〇〇	〇	三三、三四〇八	三、五五三、五五三
藥囊地	一、七五三、五三	〇	二五、二四八	一、七五三、三七	一、五二二、三三七
毛布	二六、一七〇、五〇	九七、〇〇〇	〇	二六、四四四、三	一〇四、〇〇〇
計	二八、一七〇、五〇	七〇、〇二〇〇〇	二五、二四八	二八、四四四、三	五八、九三三、〇六

職工

本年度中使役セシ職工ノ人員及ヒ給料ハ左ノ如シ

計	男工	女工	延 人 員		給 料		平均一人九時間給料
			人	員	圓	圓	
	七五、七〇一		二	三、四八七	六	二九	〇三、一〇
	八三、五六六		一	一、〇五四	六	六三	〇一、三二
計	一五九、二六七		三	四、五四二	二	九二	

石炭

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

石炭	購 入		同 上 代 價		費 消		同 上 代 價	
	斤	圓	斤	圓	斤	圓	斤	圓
	七、七〇〇、〇〇〇	三、七五〇、〇〇〇	七、三六、一五八	二〇、八三三				

收 支

本年度作業支出額ハ五拾四万九百參拾圓貳拾七錢六厘收入額ハ五拾貳万貳千八百八拾七圓七錢壹厘益金ハ貳万七千百拾四圓貳拾參錢壹厘ナリ其收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク

臨時費

本年度ニ於テ臨時歳出ヲ仰キシハ決算額七万貳千六百六拾五圓五

拾五錢四厘ニシテ其内譯ケハ毛布製造場建築費ニ貳万七千八百八拾壹圓八拾貳錢四厘毛布製造場器械購買ノ爲メ四万四千九百八拾參圓七拾參錢ヲ使用セリ

皇太子殿下啓

明治廿七年度自明治廿七年四月至同廿八年三月

明治廿七年四月五日 皇太子殿下當所ニ行啓所長御先導各工場御巡覽暫時御休憩ノ後還啓アラセラレタリ

當日所長ハ(服装)フロツクコートニ立關前技師及判任官ハ(服装同上)門内ニ聯列奉迎送ヲ爲シ職工ハ 殿下御通行ノ際敬禮ヲ爲シ直ニ就業ス

當日所長ヨリ呈セシハ役員姓名書一通羊毛買入高、職工人員、廿六年中製造高、就業時間表一通ナリ

御休息所ハ高等應接所机椅子及御用所ハ東宮職ヨリ廻ル 供奉控席ハ廣間應接所トス

同十七日 大竹技師居住ノ官舎壹棟修繕ニ關スル取扱上ノ區分ヲ定ム

五月三日 撰毛工女ノ給料ハ本月六日ヨリ支那羊毛第一號ヲ三

等ニ撰別スル外色毛ヲ撰出セシムルカ故ニ撰上リ壹キロ金參厘五毛ニ改ム

六月廿日 此日激震ス第三工場付属ノ烟筒横斷ノ裂目ヲ生シ改築ヲ要スル外他ニ格別ノ損害ナク事務所工場トモ依然就業ス

同廿九日 朝鮮事件ニ因リ晝夜機械ノ全力ヲ盡シ織製ノ準備ヲ爲スニ當リ第二工場及毛布工場ニ要スル電氣燈不足ナルヲ以テ至急購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

七月三日 職工規則第三條服業年期ハ自今日ヲ以テ計算スルコトニ改ム

同廿三日 染物所ノ東隅絨置場ニ染絨器ヲ備フ故ニ其代リトシテ染物所前ニ拾六坪半ノ仮物置ヲ建設ス

同廿四日 藥囊地製造至急ヲ要スル爲メ廿六日ヨリ毛布工場据付ノ織機ヲ以テ晝夜織立ニ從事セシム

同廿五日 第二工場モ亦藥囊地製造ノ爲メ晝夜織立ニ從事セシム

八月五日 陸軍戰時給與規則ニ依リ本官傭員守警小使ニ本月一日ヨリ増給ヲ給スル旨達セラレ

同八日 清國ト交戦ニ因リ事業繁劇ノ爲メ勤務時間ヲ改正ス

同十日 事務所及工場日曜日大祭日等ノ休假ヲ廢ス但シ工場ハ職工晝夜ノ交替ヲ爲スダメ隔週日曜日ノ夜業ヲ止ム

同廿二日 職工規則第十二條中「二日已上臨時」ノ六字ヲ追加ス

同廿三日 毛布工場自今第四工場ト稱スヘキ旨達ス

九月三日 戰役ニ因リ臨時製造ノ絨類ハ原料タル羊毛ニ差支ヲ生スルヲ以テ本省ヨリ羊毛百五万參千四百五拾七封度下付ヲ仰キ而シテ當所ハ染料工料其他ノ費用ノミヲ以テ製造ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

第四工場

各科業務手續

機關担当者心得書

十一月十五日 次官ノ通牒ニ基キ石炭油ノ使用ヲ廢ス
 同十七日 染絨場仮小屋拾貳坪半壹棟ヲ第四工場裏ニ建設ス
 十二月十三日 各工場ノ要所ニ輕便消火器ヲ配置ス
 同十七日 火ノ元取締ニ關シ所員及職工ニ諭示シテ各自嚴重ニ
 注意ヲ加ヘシメ且ツ臨時雇ヲ以テ守警ヲ補ヒ定詰夫ヲ五名増員
 シテ工場ノ内外ヲ頻繁巡檢セシム
 明治廿八年二月六日 木工場ヲ西裏ニ移シ其跡ニ汚毛調合場仮小
 屋四拾坪一棟ヲ建設ス
 三月五日 去月建設セル汚毛調合場ニ續キ仮羊毛置場五拾坪壹
 棟ヲ建設ス
 同十七日 機關担当者心得書ヲ施行シ機關科取締員心得書ヲ廢
 ス
 同日 工場各科業務ノ區分及機械物品ノ整理ヲ明確ナラシムル

積金規約廢止

軍絨定價

爲メ各科業務手續ヲ施行ス
 同十八日 職工積金規約ニ依リ毎月積ム所ノ金員ハ從前ノ通預
 金局ニ預ケ置キタルニ同局規則改正ニ付自今預ケ難キニ依リ右
 積金規約ヲ廢ス
 同廿五日 所印ヲ改刻ス
 本年度中軍絨定價左ノ通り増減ス

絨類	一ヤール 舊代價	廿七年四月 改正代價	廿八年一月 改正代價
一号 紺	二、二五〇	二、四三〇	二、二五〇
二号 紺	二、三一〇	二、四六〇	二、二八〇
三号 紺	一、九五〇	二、一〇〇	一、九二〇
四号 紺	二、一三〇	二、三七〇	二、一九〇
五号 紺	二、五二〇	二、五八〇	二、四〇〇
六号 紺	一、七四〇	二、二八〇	一、八六〇

製造販賣

名稱	製造額	羊毛使用高	厚綿製糸使用高	販賣高	同上代價
一号 茜	二、〇一〇	二、〇一〇	二、一〇〇	一、九二〇	
二号 茜	二、六一〇	二、六一〇	二、七三〇	〇	
藍霜降	一、六八〇	一、六八〇	一、八〇〇	一、六二〇	
廿号 各色	二、〇四〇	二、〇四〇	二、一〇〇	一、九二〇	

四十四

本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

職工

本年度中使役セシ職工ノ人員及給料ハ左ノ如シ

名稱	製造額	羊毛使用高	厚綿製糸使用高	販賣高	同上代價	延 人 員		給 料	
						圓	圓	平均一人九時間給料	圓
絨	五七、八八〇	一三六、五八〇	〇	五四、八四三	八三、五九四	一四	一四〇	九七、〇六二	一七
小絨	一〇、一九五	五、三六九	〇	三、七四八	五、九五二	一四	一四〇	三二、二二〇	〇
藥織地	一六、四五〇	〇	〇	一六、五三三	三、八九七	一四	一四〇	三二、二二〇	〇
毛布	五五、五〇五	一、九〇〇	〇	五五、一七〇	一四〇	一四	一四〇	九七、〇六二	一七
計	一三九、〇七五	一三六、五八〇	〇	一三九、〇七五	一三六、五五五	一四	一四〇	九七、〇六二	一七

石炭

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

男工	女工	計
九八、四八三	一四〇、七八五	二三八、二六八
二八、三二四	一六、四七一	四四、七九六
六七〇	二六九	九三九
〇二八七	〇一一七	

收支

本年度支出額ハ八拾壹万九千六百六圓四拾六錢七厘收入額ハ九拾万八千六百七拾八圓參拾錢參厘益金ハ參万六千四百拾四圓貳拾五錢九厘ナリ其收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク

石炭	購入高	同上代價	消費高	同上代價
斤	一一、〇〇五、四〇〇	圓	斤	圓
	四二、三八三	四四、七		四四、七
	二、七四	二、七四		二、七四

四十五

明治廿八年度 自明治廿八年四月
至同 廿九年三月

明治廿八年六月五日 戰役ノ爲メ多額ノ製造ヲ要シ染絨ニ使用スル蒸氣不足ナルヲ以テ滾罐据付ノ爲メ滾罐場壹棟煙筒一基臨時軍事費ヲ以テ建設ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

同廿七日 昨年六月日清事件以來製作品多數ノ處其所職工等克ク其勞ニ堪ヘタルヲ以テ慰勞トシテ金壹圓以內各自勉勵ノ度ニ應シ特ニ支給スヘキ旨陸軍大臣ヨリ達セララル

七月十三日 臨時製造ノ軍絨夥多ニシテ平時ノ豫算内ヲ以テ支辨シ難ク追加豫算ノ請求ヲ爲スベキモ帝國議會開會マデ尙ホ余日アルヲ以テ其間事業繼續ノ爲メ本省ヨリ濠洲羊毛參拾九萬封度下付ヲ仰キ而シテ絨代ハ羊毛代價ヲ扣除シ其他ノ費用ノミニテ製造ノコトヲ上申シテ許可ヲ得

十月廿二日 製絨事業研究ノ爲メ雇員一名歐州へ派遣セララル、

雇員歐州へ派遣

ニ付歐州滞在中旅費規則ノ客舎料及日當ノ支給ヲ廢シ手當トシ
 テ一ヶ年金千貳百圓出發前支度料トシテ金六拾圓ヲ支給シ其他
 ハ總テ外國旅費規則ニ依リ支給ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 同廿三日 雇員渡部謙吉歐州へ派遣ヲ命セラル
 十一月十四日 日清事件以來本官備員守警小使ニ増給ヲ給セラ
 レシカ本月三十日限り廢止セラル
 同十五日 重要ノ帳簿日々藏置ノ爲メ金庫一個備付
 同三十日 職工規則第廿一條中改正
 同日 事務所員執務時間ヲ改定スル左ノ如シ
 九月十一日ヨリ十月三十一日迄 午前七時ヨリ午後四時ニ至ル
 十一月一日ヨリ翌年二月末日迄 午前八時ヨリ午後四時ニ至ル
 三月一日ヨリ七月十日迄 午前七時ヨリ午後四時ニ至ル
 七月十一日ヨリ九月十日迄 午前七時ヨリ午後二時ニ至ル

事務手續

一事務所繁劇ノ場合ニ於テハ晝夜ニ拘ハラス執務スベシ
 一工業掛ハ第一項ノ時間ニ準シ工場執業時間ニ應シ製造部ニ
 於テ時間割ヲ定メ執務スベシ但シ交代ノ場合ニ於テハ前番
 者ハ必ス後番者ニ事務引繼ヲ了シタル後退出スベシ
 六月十五日 清國ト交戦以來機械ノ全力ヲ以テ晝夜執業スト雖
 モ機械不足ニシテ給與ヲ充ス能ハス且ツ今後平定ニ至ルモ夥多
 ノ製造ヲ要スヘキヲ以テ工場并機械ヲ増設セラレ度就中機械ハ
 概テ外國ニ注文シ多クノ日數ヲ要スルニ依リ差向臨時軍事費ヲ
 以テ購入ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 同廿日 嚮ニ軍事費ヲ以テ機械増設許可ノ内石川島造船所及三
 吉電氣工場へ注文ノ機械ハ各金額五百圓以上ニ至ルモ確實ナル
 製造所ナルニ依リ保証金免除ノコトヲ上申シテ許可ヲ得
 十一月五日 事務手續ヲ定ム

軍絨定價

本年度中軍絨定價左ノ通増減ス

絨類	一ヤール 舊代價	廿八年四月 改正代價	廿八年九月 改正代價
一號 紺	二、二五〇	二、三三〇	一、八九〇
二號 紺	二、二八〇	二、七〇〇	二、一九〇
三號 紺	一、九二〇	二、二五〇	一、八三〇
四號 紺	二、一九〇	二、五五〇	一、九八〇
五號 紺	二、四〇〇	二、六七〇	二、〇四〇
六號 紺	一、八六〇	二、〇四〇	一、五九〇
一號 茜	一、九二〇	二、三四〇	一、八九〇
二號 茜	二、七三〇	三、一二〇	二、五二〇
藍霜降	一、六二〇	一、九二〇	一、五六〇
六號紺(別染)	〇	一、八六〇	一、四四〇
廿号 各色	一、九三〇	一、九五〇	一、五六〇

製造販賣

本年度中製造セシ絨類ノ數量及ヒ販賣額ハ左ノ如シ

名稱	製造額	羊毛使用高	厚綿製糸使用高	販賣高	同上代價
絨	七五、九七〇	一、五二、二四〇	〇	七四、〇九四	一、七〇、五九二
小絨	〇	〇	〇	一、〇三六	四六六三
藥糞地	〇	〇	〇	三、八〇	八四八
毛布	七五、九七〇	一、九五、二二四〇	〇	七四、〇六四	一、三七、〇五三
計				三枚	八三〇

職工

本年度中使役セシ職工ノ人員及ヒ給料ハ左ノ如シ

計	延人員		給料		平均一人九時間給料
	男工	女工	圓	圓	
男工	一、二一、五八八	三三、七〇九	二、二二二	〇	二六九
女工	一、八三、三四八	二一、五七二	六〇一	〇	一一八
計	三〇四、九三六	五四、二八一	二、八三三	〇	

石炭

本年度中石炭購入額及ヒ消費額ハ左ノ如シ

收支

臨時費

石炭	購入高 斤	同上代價 圓	費消高 斤	同上代價 圓
	三、七三三、〇〇〇	五、八三三、〇〇〇	三、五六九、〇七六	五、二〇四、五五四

本年度支出額ハ百參拾八万六千五百參拾五圓八錢六厘收入額ハ百參拾八万九千七百七拾圓九拾六錢七厘益金ハ貳万參千貳百參拾四圓四拾九錢參厘ナリ其收支ノ科目ハ卷末ニ掲ク
本年度中臨時軍事費ヲ以テ瀧窪場壹棟煙筒壹基ヲ新築シ其金額ハ參千貳百貳拾九圓五拾錢又該費ヲ以テ購入セシ機械器具ノ金額ハ壹萬八千九拾八圓七拾七錢四厘ナリ

興業費及臨時歲出科目

興業費及臨時歲出決算科目

自明治九年度至明治廿八年度興業費及臨時歲出科目ハ別表ノ如シ

年 科 目	度			
	同 十 年 度	同 廿 六 年 度	同 廿 八 年 度	合 計
廉 舍 費	九、九二一	〇	〇	五、二五〇
營 繕 費	二、四七三、〇〇九	二、七、一八一	三、二二五	一、三三三、四三六
器 材	二、〇〇九、二九	二、八二四、四九	一、八、〇	五、八二二、六八
	四、三〇八			一、三三三、四三六
	七、九四三、一〇〇			五、八二二、六八
	二、〇〇九、二九			一、三三三、四三六

- 一 明治廿三年度後ハ目ノ名稱異ナルモノア
舍費アルハ廿二年度ノ繰越ノ爲メナリ
- 一 明治廿八年度ニ臨時費ヲ以テ購入シタル

資本額增加年次

營業資本(即チ運轉資本)ハ當初拾壹万圓ナリシニ逐年増加シテ終ニ參拾八萬六千四百九拾六圓七拾九錢壹厘ニ至ル其増加ノ年度金額ハ左ノ如シ

年 度	金 額	累 計
明治十一年度	一一〇、〇〇〇	一一〇、〇〇〇
同 十二年度	四〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
同 十四年度	三〇、〇〇〇	一八〇、〇〇〇
同 十八年度	四四、三八二	二二四、三八二
同 十九年度	七五、六一七	三〇〇、〇〇〇
同 二十二年度	八〇、〇〇〇	三八〇、〇〇〇
同 二十三年度	六、四九六	三八六、四九六
	七九一	三九三、九四一

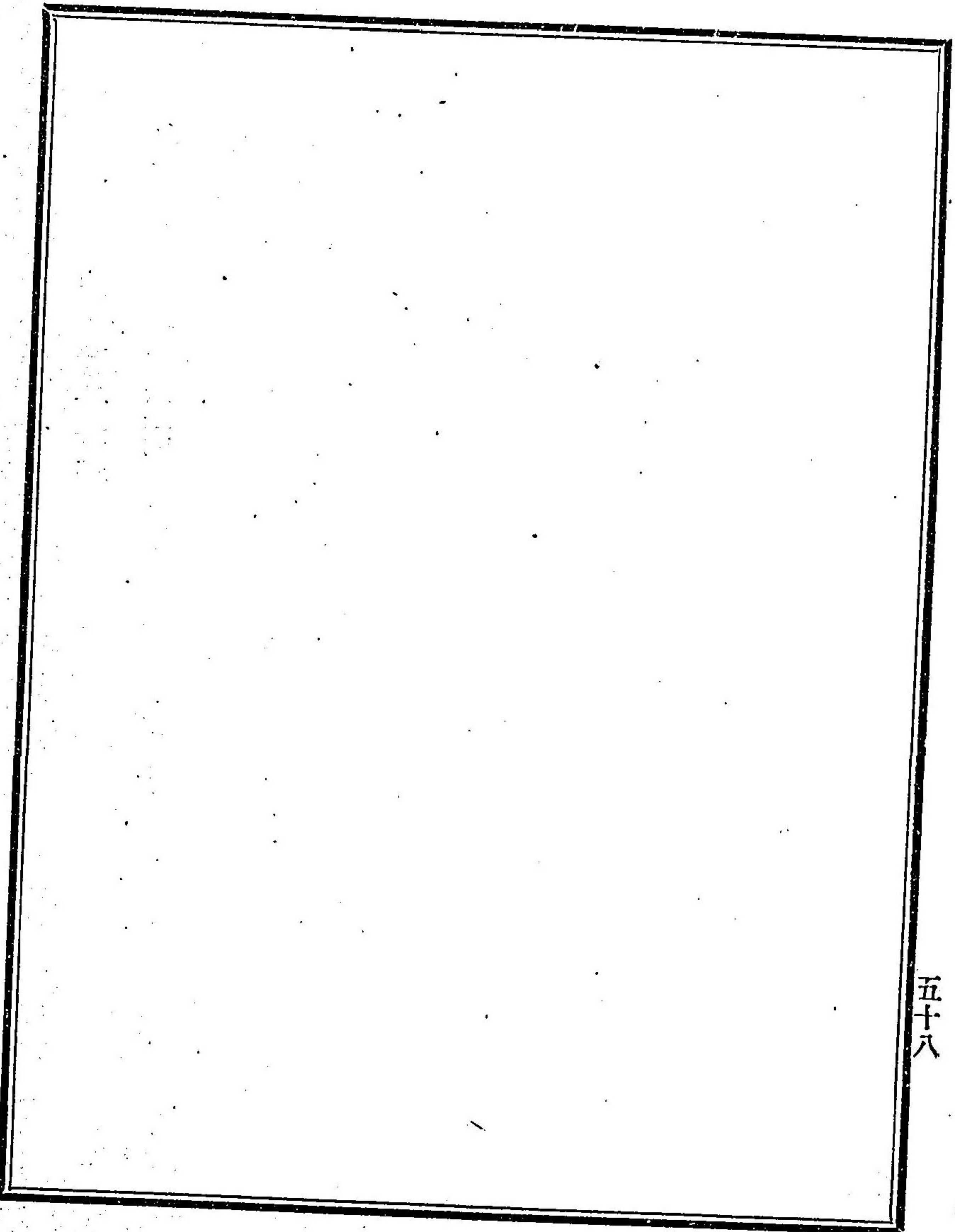
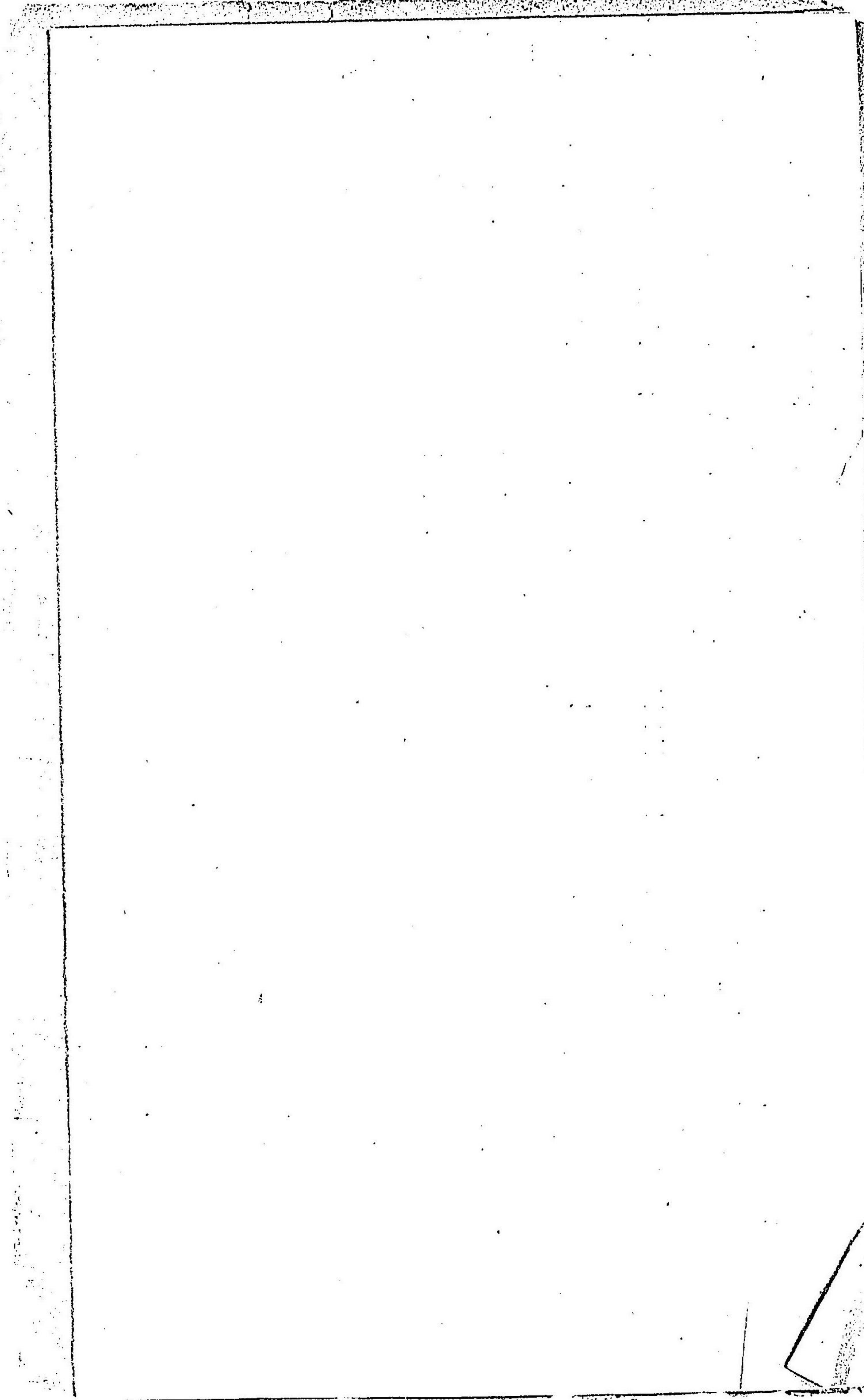
<p>八</p>

作業費受拂損益

作業費受拂損益

自明治十二年度至明治二十八年度作業費受拂及損益ノ金額左ノ如シ

<p>五十七</p>



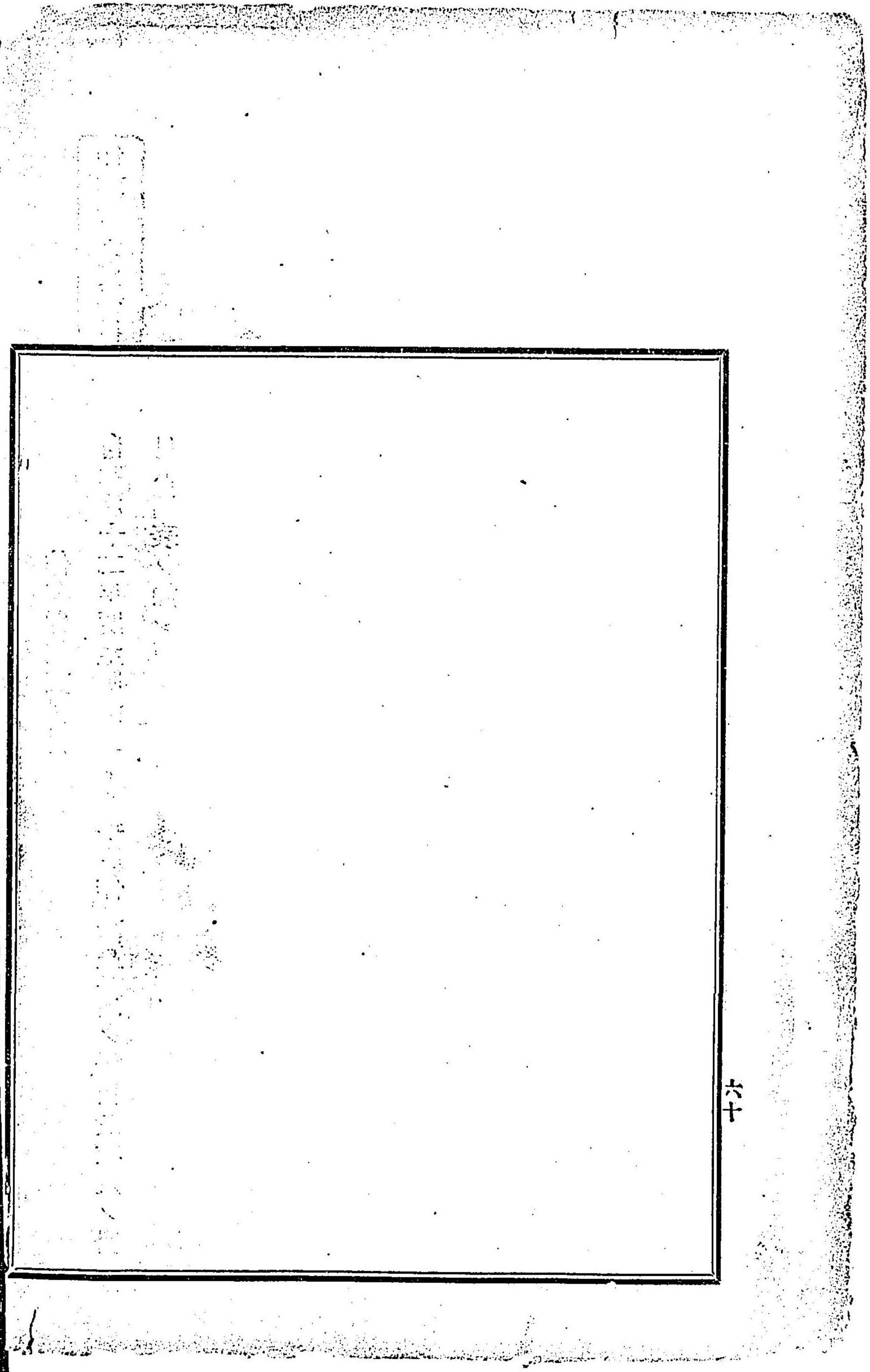
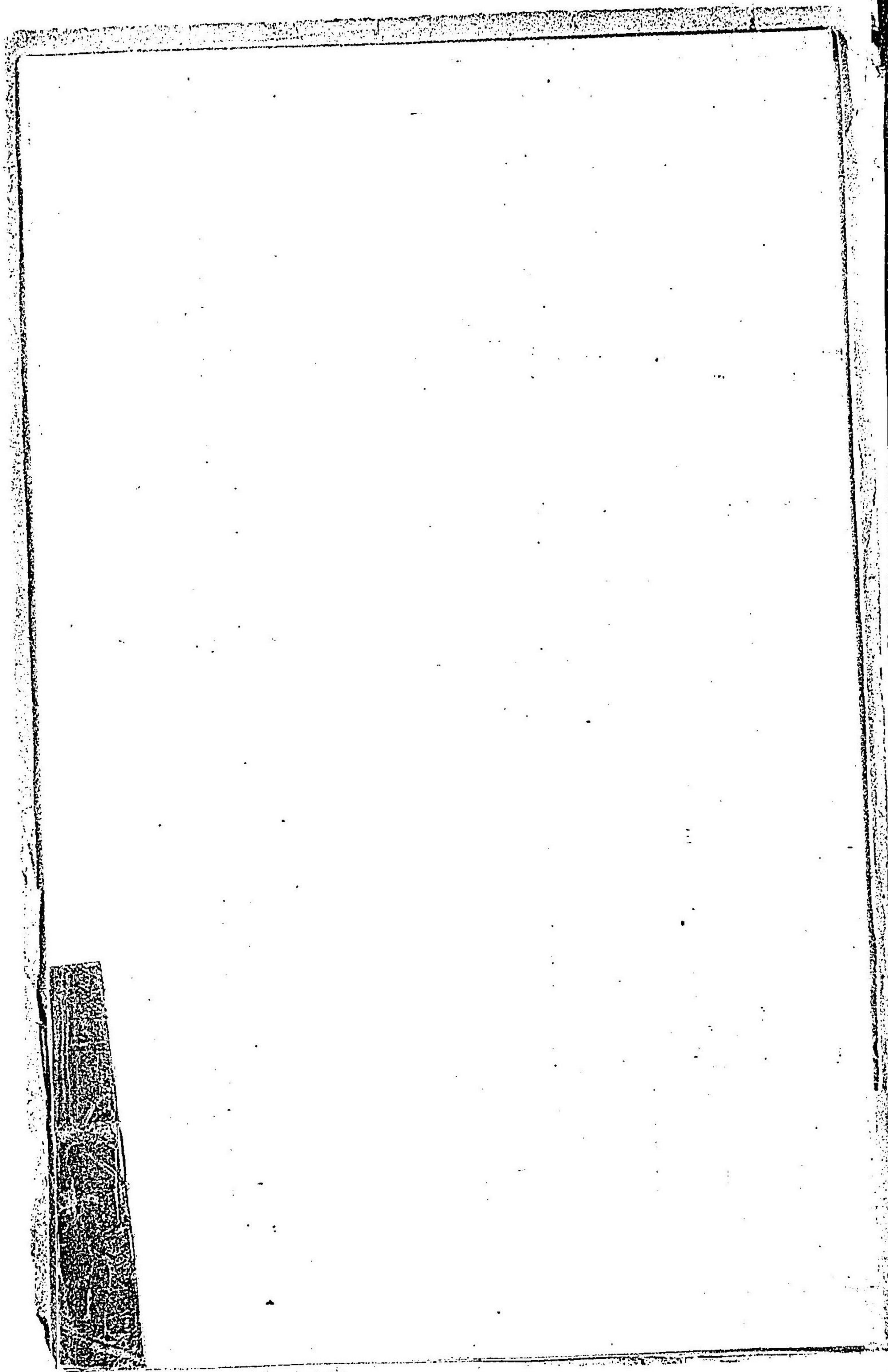
年 度	受			
	收入額	收入未済額	翌年度へ繰越 物品ノ價	前年度ヨリ 越支出未済
明治十二年度	10,311,075	0	0	0
同 十三年度	1,412,618	0	0	0
同 十四年度	1,313,010	0	0	0
同 十五年度	3,816,914	0	0	0
同 十六年度	2,213,379	0	0	0
同 十七年度	8,269,246	0	0	0
同 十八年度	4,413,278	0	0	0
同 十九年度	6,013,256	0	0	0
同 二十年度	5,516,872	0	0	0
同 二十一年度	6,017,269	0	0	0
同 二十二年度	6,013,379	0	0	0
同 二十三年度	5,910,482	11,318,123	3,714,732	1,614,878
同 二十四年度	6,413,843	4,619,467	3,313,098	9,152,000
同 二十五年度	5,517,462	9,413,911	3,210,408	0
同 二十六年度	5,311,871	1,313,140	3,711,008	6,210
同 二十七年度	9,018,678	1,512,306	3,218,772	5,914,778
同 二十八年度	1,319,176	2,919,046	3,313,018	3,013,875
通 計	8,413,090	3,313,273	2,014,357	4,518,664

一初年度ヨリ廿二年度迄ハ受拂ノ差ヲ以テ損益ヲ算出シ廿三年度ハ

作業費收支科目

作業費收支科目

自明治十二年度至明治二十八年
度作業費支出ノ科目及收入ノ科
目ハ別表ノ如シ



表目科出支費業作

科目	年度	
	明治二十二年	全二十二年
合 計	二九,五九七,七六二	一,一〇〇,〇〇〇,三三六
諸收入過誤納下戻	0	0
賠償及訴訟費	0	0
乘 捐 費	0	0
雜給及雜費	九,四九三,四一四	二二,〇〇〇,〇〇六
旅 費	0	0
修 繕 費	六,四七一,一七七	三六〇,二〇五
材料素品購買費	四,四六一,六九七	六,五五九,一七五
作 場 費	二,九七七,八二四	二二,九八〇,七五五
應 費	0	0
俸給及諸給	二,三六九,六六〇	七,七五九,五二五
科 目	明治二十二年	全二十二年
明治二十二年	二,三六九,六六〇	七,七五九,五二五
全二十二年	二,三六九,六六〇	七,七五九,五二五
全二十三年	五,二九三,三五〇	五,二九三,三五〇
全二十四年	五,九七〇,九五〇	五,九七〇,九五〇
全二十五年	五,五三三,六〇〇	五,五三三,六〇〇
全二十六年	五,〇八〇,五〇〇	五,〇八〇,五〇〇
全二十七年	五,〇八〇,五〇〇	五,〇八〇,五〇〇
全二十八年	五,〇八〇,五〇〇	五,〇八〇,五〇〇
全二十九年	六,一八〇,〇四九	六,一八〇,〇四九
全三十年	七,四四一,四	七,四四一,四

一 廿三年度以前ハ科目異ナリト雖モ一覽ニ便センカ爲メ近時ノ科目名稱中ニ分合記入セリ但シ乘捐費ノ如キハ恰當ノ科目ナキ

表目科入收費業作

科目	年度	
	明治二十二年	全二十二年
合 計	一〇,三三三,〇七七	一,四一,九六一,八一五
製品賣拂代	九,七二六,五二七	一四,一六九,一七二
注作品製造料	0	一,四一四,〇〇〇
物品拂下代	五,四五六,〇	八,九四八
地所貸下料	0	0
建物貸下料	0	0
返 納 金	0	0
辦 償 金	0	〇,二八〇
科 目	明治二十二年	全二十二年
明治二十二年	九,七二六,五二七	一四,一六九,一七二
全二十二年	九,七二六,五二七	一四,一六九,一七二
全二十三年	三,九七三,三六〇	三,九七三,三六〇
全二十四年	三,八〇四,三九〇	三,八〇四,三九〇
全二十五年	二,〇九二,九一〇	二,〇九二,九一〇
全二十六年	二,〇九二,九一〇	二,〇九二,九一〇
全二十七年	八〇,三二七,九	八〇,三二七,九
全二十八年	四六,八九七,〇	四六,八九七,〇
全二十九年	六〇,一五三,八六〇	六〇,一五三,八六〇
全三十年	五,四四,六	五,四四,六

一 支出科目表ト均ク廿三年度以前ノ科目ハ近時ノ科目名稱中ニ記入セリ而シテ貿易銀貨價格差増十四年度ニ千八百八十壹圓七錢料十八年度ニ六十二錢物品受入廿二年度ニ三千百三圓二十六錢八厘ノ如キハ恰當ノ科目名稱ナク且ツ一時期リノモノニ付本

全十九年度	全二十年度	全廿一年度	全廿二年度	全廿三年度	全廿四年度	全廿五年度	全廿六年度	全廿七年度	全廿八年度	總計
六,一八〇,四九六	七,四四一,五四三	一,一三九,三八七	一,三,九六四,七五九	九,五八五,〇〇〇	八,二六八,四四四	七,三三〇,九九七	六,九三六,六五六	六,二五九,九九二	六,四七五,四九五	
〇	〇	〇	〇	四八〇,四四七	六三三,九九二	六二二,三五八	七三三,五六二	四四六,〇二二	四三九,四三四	
一〇一,〇三六,二二六	一三六,七九九,七三三	一四三,三〇〇,二二九	一六六,八八三,〇七七	一七六,二二二,六六五	一〇七,三九二,七五五	一〇一,五九九,九四五	六九,二九三,六八九	一三四,三六九,七六六	二〇〇,九六三,三三二	
三,七四八,九三九	二,九四九,六三三,二九一	二,九五八,八三〇,二六二	二,五九六,六五九,八五一	三,九三三,六三三,一一〇	三,五三三,四八八,八八八	三,六二一,〇九六,六〇三	四,一四九,八二七,七九九	六,二八二,三三三,八三二	一,〇五六,一四六,六七	
二,四二二,八三三	九,五七九,〇九九	七,三〇二,三〇九	一四,八四九,三三二	一,五九九,七六一	七,七二二,二四	九,〇三二,一九	八七七,八七九	一,三二五,五〇七	一,七九四,六四四	
一,〇六六,七七七	一,〇六一,一七七	一,〇〇〇,〇〇〇	三,九九九,六八八	二,七二〇,二七〇	七,七二〇,二七〇	四,九〇〇,〇〇〇	四,五五〇,〇〇〇	一,三〇二,二五〇	七,四〇九,四〇〇	
四,五五六,〇三三	四,五二六,三三三	四,八八五,五七四	五,八〇六,四四三	五,二四九,〇一七	五,二二二,六九二	四,九二二,三〇五	四,八〇九,二五二	五,八九三,八九七	七,〇四七,三三四	
〇	四七五,五三三	〇	一,一〇四,七七	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
五,八二七,〇〇五	四,五二一,〇六五	五,〇七六,八三〇	五,〇七二,〇三六	六,一三九,四一四,〇〇〇	五,三三三,〇四五	五,〇九八,四三三,七七	五,四〇九,三〇二,七六	八,一九六,〇四七	一,三六六,五三三,〇八六	七,六八五,二三五,〇一六

キハ恰當ノ科目ナキヲ以テ特ニ二科目トシテ記載セリ

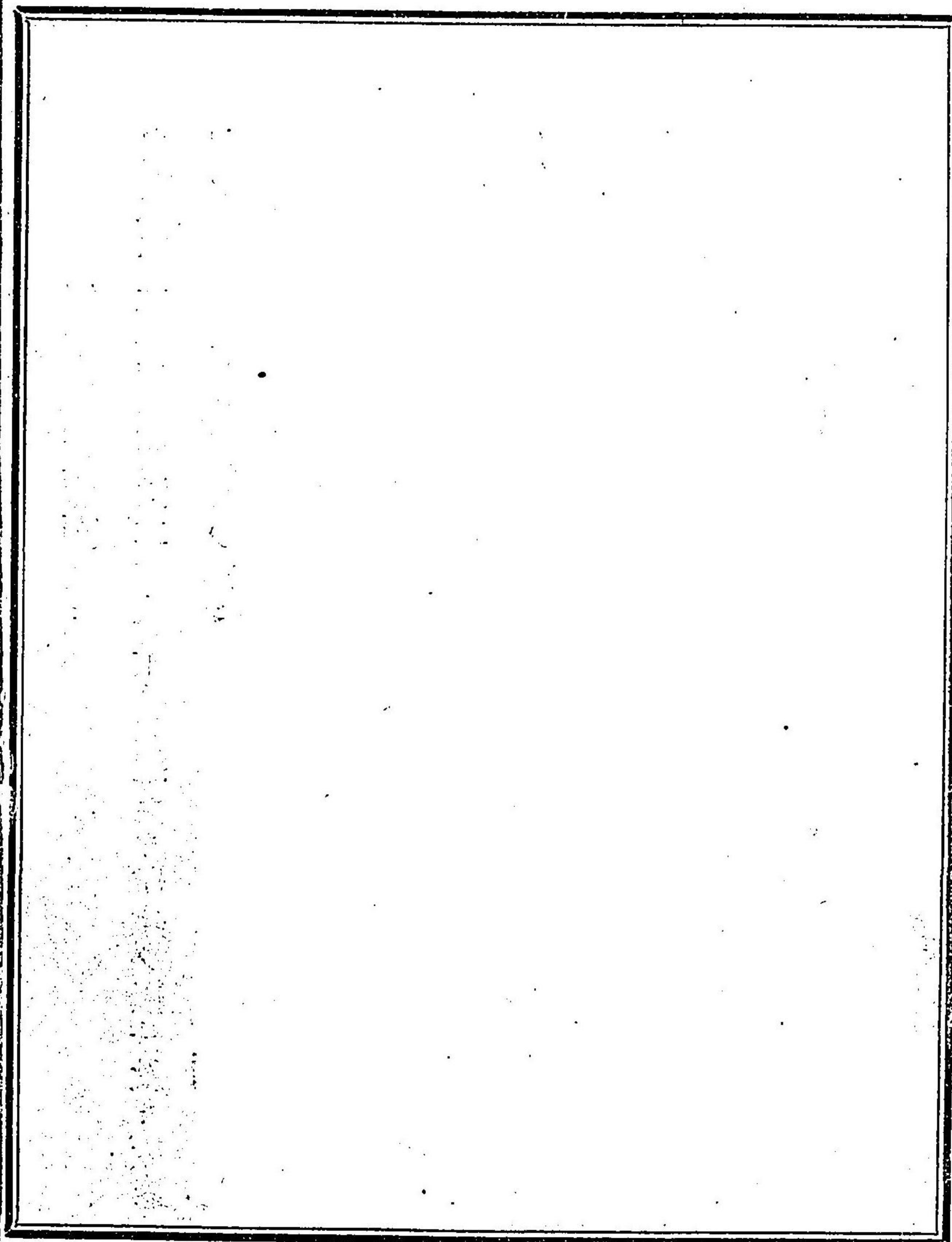
同十九年度	同二十年度	同廿一年度	同廿二年度	同廿三年度	同廿四年度	同廿五年度	同廿六年度	同廿七年度	同廿八年度	總計
六〇,一五二,八六〇	五,四四六,二八七	六〇,五二九,九九七	五九七,〇八七,六五五	五八,四四〇,六〇六	六四二,一七四,五七七	五五四,六七三,八五一	五二八,三四七,四三七	九〇三,三〇〇,二四二	一,三六三,三三七	
三,〇六五	四,五七八,〇〇〇	三,九九四,二	一,八六〇,四七七	五,二八五,九九	四,四三三,五二二	三,三五一,一九九	一,七五五,八一九	二,〇三六,四五六	一,三九六,八四七	
一,一四五,九九八	一,六六六,九九四	一,九〇九,八八〇	三,一四〇,一〇六	一,九一〇,五五七	二,一六二,二八二	二,三六七,九四八	二,二三〇,六七二	三,一八一,〇七六	四,五〇〇,〇五一	
〇	〇	〇	〇	〇	〇〇九	〇一,一七四	〇一,一七四	〇一,一七四	〇一,一七四	
九,四七一	〇	〇	〇	〇	一,四一五,八五	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	五,〇〇〇,〇〇〇	三,三三三,三三三	
〇	〇	〇	〇	〇	五,七七一	三,七八三	〇	〇	〇	
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
一,一三〇	〇,五九一	〇,二九二	四,三三九	二,七五八一	二,六五三	一,五九八	二,八六五	一,一〇二,五〇〇	一,七〇九	
六〇,三三三,五六四	五,三六八,七八二	六〇,七二六,六九二	六〇,〇〇,五二九,一〇七	五九〇,四四八,七二九	六四三,八五四,三三〇	五五七,四六二,〇六六	五三二,一八七,〇七二	九〇八,六七八,三〇三	一,三六九,七〇七,七〇	七,六八五,二三五,〇一六

千八百八十圓七拾錢七厘銀貨ニテ物品購買ニ係ル開キ十六年度ニ六百四十三圓七十六錢八厘十七年度ニ千六百二十六圓四十九錢二厘物品貸下損限リノモノニ付本表中之ヲ除ク

製造額販賣額販賣代
價總計

製造額並販賣額及ヒ販賣代價總計

自明治十二年度至明治二十八年年度製造セシ絨類ノ區分及ヒ販賣
品ノ區分其代價等別表ノ如シ



年 度	種 類	製		造		額		計		販			
		絨	小絨	藥	毛	布	絨	小					
明治十二年		二、六六二	二四	七四五	一八	〇	〇	〇	〇	三、四〇六	四二	三、六六一	四
同十三年		六五、二四	八四	九四六	二六	〇	〇	〇	〇	七四、六一	一〇	五、七五〇	二九
同十四年		七、六二	二〇	一四、六五	九四	〇	〇	〇	〇	八六、二六	一四	七九、八九二	二五
同十五年		九、八五六	八七	二七、一九三	五五	〇	〇	〇	〇	二〇、五〇	七	一〇、一五五	五
同十六年		六九、四八〇	〇七	二〇、二五五	二五	九一七	一七	〇	〇	九〇、六五二	四	七〇、七八四	四
同十七年		三、八四三	九七	三、七五五	一〇	一、八八四	〇〇	〇	〇	三、八五〇	〇七	三、六七一	三
同十八年		二七五、六七二	九六	三三、二〇九	三三	四、四四四	〇〇	〇	〇	二二、三三六	五九	一七、三〇九	四
同十九年		二三四、七二	九六	一四、七五六	二二	三、一九六	〇〇	〇	〇	二五、六六六	一九	二八、二六四	〇六
同二十年		二四、九九五	九九	一、八七二	七二	五、九九七	四四	〇	〇	二二、八六五	一五	二六、七〇三	五
同二十一年		二五、三九一	二五	五、二二〇	九一	一四、二六七	〇六	〇	〇	二六、八八九	三三	二五、三九九	六
同二十二年		三〇七、五五六	三三	一、〇四四	〇三	三、九〇七	五五	〇	〇	三二、四七七	六〇	二八、〇四五	四〇
同二十三年		二五五、九八一	三〇	一、五二四	九六	五、五九四	〇三	〇	〇	二七、三五四	六二	二八、二一九	六
同二十四年		二八四、五二	九四	二、二七七	六〇	三、二五三	三六	〇	〇	二八、九六二	九〇	三九、七三九	七〇
同二十五年		二六〇、七六二	七二	三、五三三	九〇	一、五五四	四二	〇	〇	二八、八六〇	〇九	二五、七〇二	五
同二十六年		二四四、〇四	三七	三、三三二	六〇	一、七五三	五三	〇	〇	二八、一七〇	五〇	二四、三三七	一七
同二十七年		五七、八八〇	五三	一〇、一九九	五七	一六、四四五	一〇	一三元	〇	五五、五〇	二〇	五四、八四三	三
同二十八年		七五、九三七	七〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七五、九三七	七〇	七四、〇四一	九
合 計		三、八七四、六六〇	五二〇	一、九五、〇五三	四二	七九、六五五	七七	三二二	〇	四、四九、三六九	七〇	三、八四、九三三	七〇

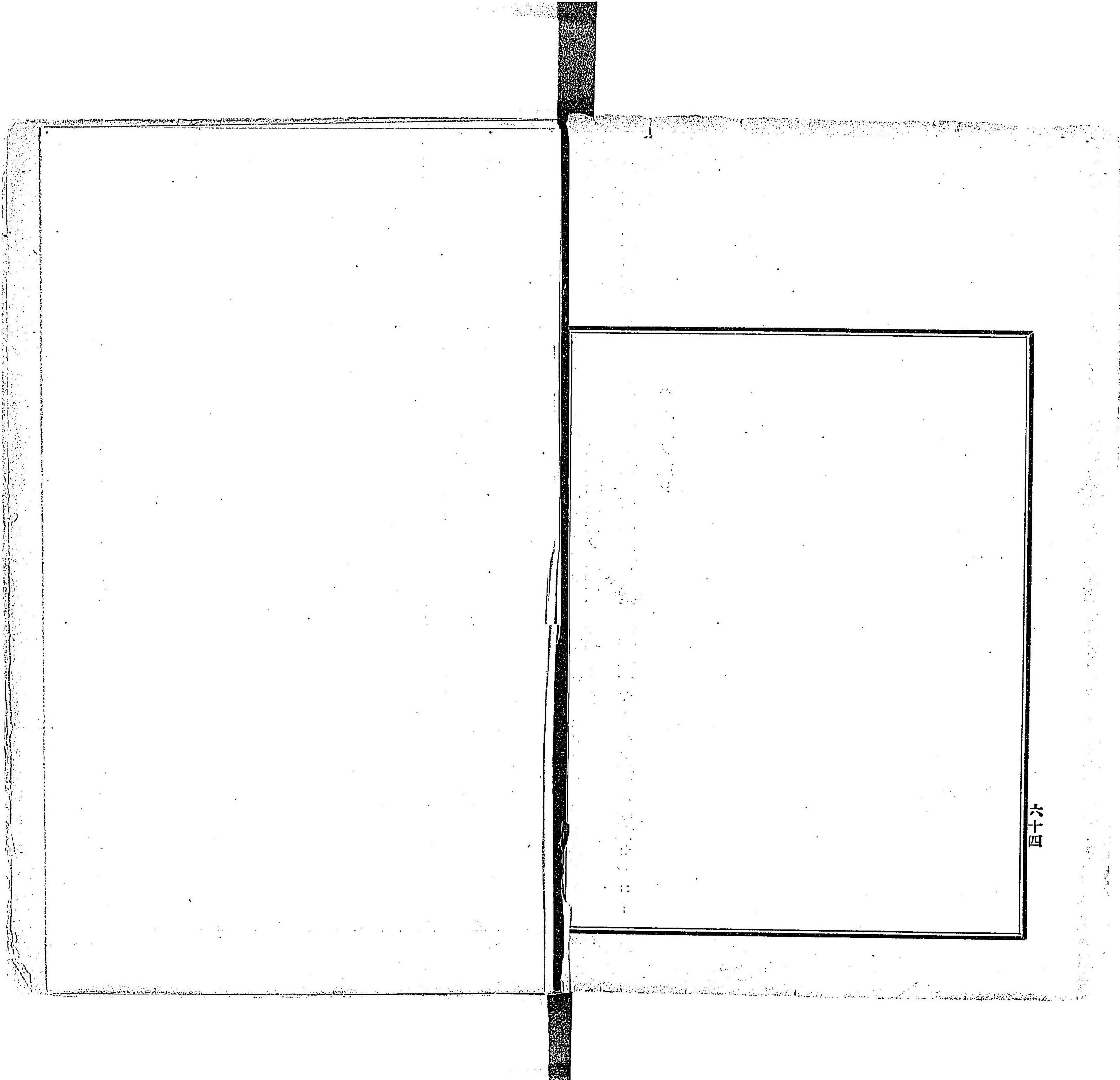
一 廿七年度及廿八年度ニ於ケル販賣代價ノ販賣額ニ對シ少額ナルハ戰役ノ爲メ臨時製造ノ絨類非
 一 本表ノ外他ヨリ染直シ等ノ依頼ヲ受ケ加工セシモノアレトモ之ヲ除ク

計	販					賣					計	販					賣					計
	絨	小	絨	藥	地	毛	布	絨	小	絨		藥	地	毛	布	絨	小	絨	藥	地	毛	
三、四〇六	四二	三、六九一	四九	一四〇	〇	〇	三、八三三	一四	九、六四二	五四	七	〇	九、七六	五七	〇	〇	九、七六	五七	〇	〇	〇	
七四、六一一	一〇	五、七五〇	二九	四、七六六	〇	〇	五七、五五六	九四	三六、九一五	一八	〇	〇	二、六四八	二〇九	〇	〇	一四、一六九	七三	〇	〇	〇	
八六、二九八	一四	七九、八九二	二五	一八、二二七	〇	〇	九六、〇〇九	九	二九、一五〇	二〇	〇	〇	一〇、五八三	四五〇	〇	〇	三九、七三三	六六〇	〇	〇	〇	
一〇〇、五〇二	七	一〇〇、五五四	八	一五、二二八	〇	〇	二七、九四二	二〇	三〇、七九	二七	〇	〇	九、二二三	六三三	〇	〇	八二、二二六	三三八	〇	〇	〇	
九〇、六五二	四九	七〇、七六四	四一	二二、四二二	〇	〇	九四、七五一	九〇	一九、八三六	五五	〇	〇	一三、二〇三	四〇一	〇	〇	二八〇、七二二	二〇九	〇	〇	〇	
三八、五〇三	〇七	三三、六七二	三三	六、二二七	〇	〇	三六、七八五	五〇	七六、三三三	九二	〇	〇	三、三三八	四八八	〇	〇	六七九	二九九	〇	〇	〇	
二二、三三六	五九	一七、三〇九	四五	一七、八三三	〇	〇	一九四、九三三	九五	四四九、一五八	七三	〇	〇	八、三五四	五三四	〇	〇	四、四三三	十四七	〇	〇	〇	
二五二、六六六	一九	二二八、二六四	〇六	一六、九六四	〇	〇	二二七、四八一	五五	五九〇、〇四三	八五	〇	〇	九、三五三	〇四三	〇	〇	一、七五六	〇二二	〇	〇	〇	
二二二、八六五	一五	二二六、七三三	五五	一五、七九七	〇	〇	二二九、〇一八	六〇	五三三、二五二	二八	〇	〇	五、一〇七	七四	〇	〇	六、二五三	〇〇五	〇	〇	〇	
二六九、八六九	三三	二五七、六二九	六七	五、九七七	〇	〇	二七五、五七〇	六四	五九三、三五七	四七	〇	〇	二、一三二	〇〇三	〇	〇	一〇、八二四	四六九	〇	〇	〇	
三二二、四七七	六〇	二八〇、四八五	四〇	八、八五二	〇	〇	二九五、三三六	三三	五八九、三七九	二四	〇	〇	二、八〇二	八三五	〇	〇	四、九〇五	五七三	〇	〇	〇	
二七三、一五四	六二	二二八、二二九	六六	一、九五五	〇	〇	二八一、五六二	五四	五八、二四三	二八	〇	〇	六五七	八一	〇	〇	一、九九八	六三九	〇	〇	〇	
二八九、九六二	九〇	二九七、三三九	七〇	二、二一八	〇	〇	三〇六、三六一	八六	六六八、四八八	六八	〇	〇	八〇〇	〇八五	〇	〇	五、二八七	一一一	〇	〇	〇	
二八一、八六〇	〇九	二五七、五〇二	五三	二、三三三	〇	〇	二七七、三七七	三一	五五七、九〇四	九六	〇	〇	九七二	二九九	〇	〇	一一、九五	四二〇	〇	〇	〇	
二八一、一七〇	五〇	二四九、三四七	一七	三、三四二	〇	〇	二八四、四四四	六二	五〇三、七六二	九三	〇	〇	一三、五五二	三五六	〇	〇	一、五二	三三七	〇	〇	〇	
五五四、五〇五	二〇	五四、八四三	三三	一三、七九四	〇	〇	五五五、一七〇	三三	八三三、五六八	四四	〇	〇	五、九五九	二六八	〇	〇	二、八九二	七三四	〇	〇	〇	
七五、九三七	七〇	七四、〇四二	九四	一、〇三三	〇	〇	七五三、〇六六	二七	一三七〇、五六八	六二	〇	〇	四六六	六八二	〇	〇	八	四四八	〇	〇	〇	
四、四九、三六九	七〇	三八四、九三三	七〇	二八七、八七二	〇	〇	四、一〇一、三四四	三三	八三、五三二	二六	〇	〇	八九、一〇	七三三	〇	〇	六、一七六	七六一	〇	〇	〇	
三二二	七〇	三二二	七〇	三二二	〇	〇	三二二	七〇	三二二	七〇	〇	〇	三二二	七〇	〇	〇	三二二	七〇	〇	〇	〇	

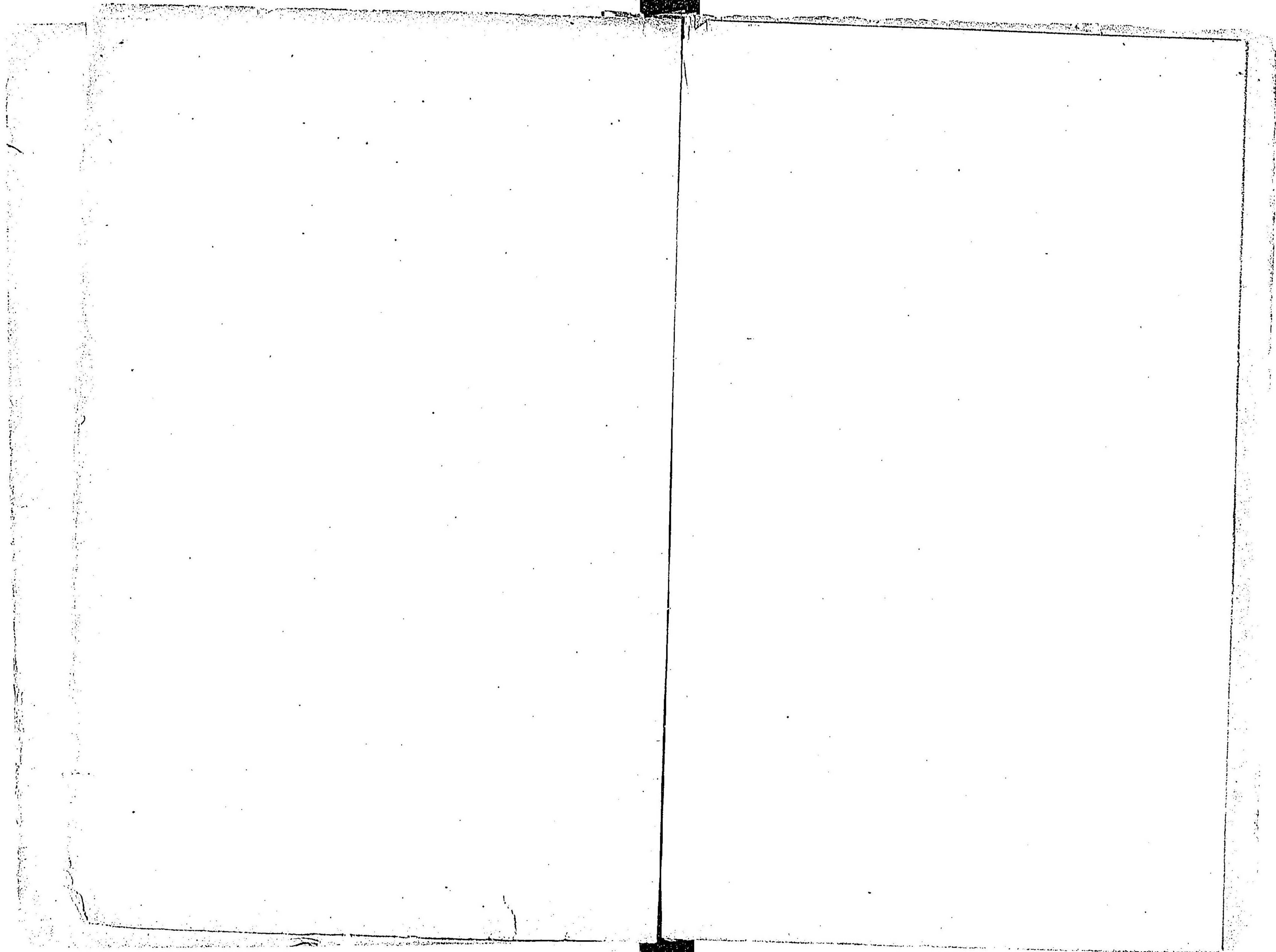
御ナルハ戰役ノ爲メ臨時製造ノ織類非常ニ多ク原料ニ差支ヲ生セシニ因リ陸軍省ノ羊毛ヲ以テ製造セシモノアルニ依ル
 トモ之ヲ除ク

軍絨代價一覽表

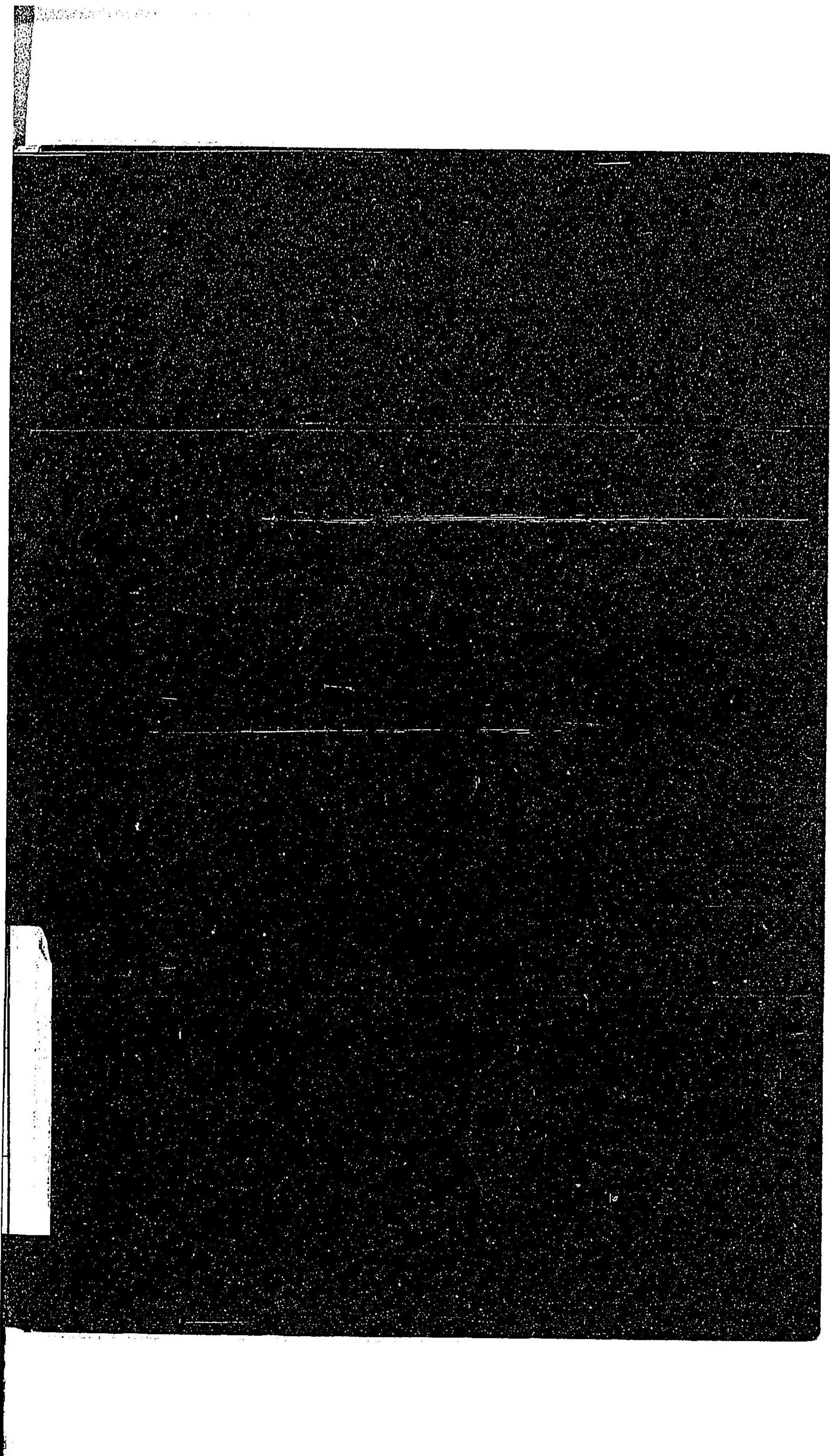
軍絨價格ノ高低一覽表
自明治十六年至明治廿八年度軍絨一ヤールノ價格高低セシコト
ハ別表ノ如シ



改正年月	品種			
	一号紺	二号紺	三号紺	四号紺
十六年十月	二、九四〇	二、六三〇	二、五九〇	二、四四〇
十八年三月	二、六〇〇	二、五〇〇	二、四六〇	二、三二〇
十八年十月	二、五四〇	二、五〇〇	二、三七〇	二、二五〇
十八年三月	二、五四〇	二、四〇〇	二、三七〇	二、二五〇
十九年三月	二、五四〇	二、四〇〇	二、三七〇	二、三〇〇
十九年四月	二、二八〇	二、四五〇	二、五〇〇	二、三〇〇
十九年十月	二、二八〇	二、七五〇	二、七五五	二、五〇〇
二十一年度	二、二八〇	二、七〇〇	二、四八〇	二、五〇〇
二十二年度	二、二七〇	二、二九〇	二、二九〇	二、一一〇
二十三年度	二、一七〇	二、二九〇	〇	二、一一〇
二十四年度	二、二六〇	二、六二〇	二、三三〇	二、一八〇
廿五年四月	二、二六〇	二、三六〇	二、〇二〇	二、一八〇
廿五年六月	二、二六〇	二、三〇〇	一、九六〇	二、一二〇
二十六年度	二、二五〇	二、三二〇	一、九五〇	二、一三〇
廿七年四月	二、四三〇	二、四六〇	二、一〇〇	二、三七〇
廿八年一月	二、二五〇	二、二八〇	一、九二〇	二、一九〇
廿八年四月	二、三四〇	二、七〇〇	二、二五〇	二、五五〇
廿八年九月	一、八九〇	二、一九〇	一、八三〇	一、九八〇



4P49



DH22
371

千住製絨所要覽

国立国会図書館

300587-000-5

DH22-371

千住製絨所要覽

千住製絨所

1896

CDK-0001

1896年刊行